

有機農業の取組事例（日立市：樫村ふあーむ）

親子2代にわたる「有機野菜栽培」への取組（日立市 十王地区：樫村ふあーむ）

農薬や化学肥料を使わない有機栽培で40年以上、野菜を栽培しています。

◆ 栽培面積：約15ha（畑：約6ha 田：約9ha）

→ 野菜：有機栽培の取組
米：特別栽培米の取組

◆ 経緯等

・ 初代（健司さん）

→ 農薬については、父が農薬散布により体調を崩したこともあり、就農当初から使用しないと決めていた。

→ 一方で、小区画の点在する畑を借りていたため、せっかく「土づくり」しても、返さなくてはならないなどの課題があった。それで、現在の（まとまった）土地を購入した。（社会的に農薬の問題が出てきたなかで）「安全なもの」との想いで、今日までやってきた。安全だけでなく、当然、味も大事。この土地にあった、やり方（栽培方法）を日々考えてきた。天候も毎年毎年違う。毎年、日々少しずつ改善しながら、今では、店頭でも、（樫村ふあーむの野菜は）一番いいところ（目立つ場所）に置いてくれている。買った人からは、「本当に、有機栽培での野菜なの？（農薬や化学肥料を使用せずに、こんなに良質な野菜が出来るのか?）」と聞かれることもある。実際に、農薬や化学肥料に頼らなくても、しっかりとしたいいものができる。現在、長男が販売面、三男（智生さん）が栽培面を担ってくれている。他に、10人くらい雇用している。



・ 2代目（智生さん）

→ 就農して、約10年。お客さんとのつながりがある（消費者の喜ぶ顔が見られる）から、今まで、（有機農業を）やってこれた。（有機農業には）やりがい、楽しみがある。効率だけを考えていたら（有機農業は）出来ないと思う。

→ 色々（栽培、販売面も）考えて、経営も変えてきている。法人化した。栽培については、「大量・少品目」でも「少量・多品目」でもなく今は、「中量・多品目」が適していると考えている。また、県北地域における仲間（5人くらいのグループ）とともに、勉強したり、イベントに参加するなどしている。農業を盛り上げたい気持ちがある。後継者不足と言われているが、農業という働き方に、（若い人たちにも）魅力を持ってもらいたいと考えている。伝えることも大事。そのためにも、自分自身が「カッコいい農家（になること）」を目指している。



◆ 出荷は、地元スーパー等へ

→ 以前は、「東京向け」の出荷が中心であったが、東日本大震災の影響や、また、輸送（送料等）の課題も出てきて、販路等も見直した。

- * 価格設定も含め、色々考えながら進めている。
- * 今のところは、現在の栽培規模、経営の継続を考えている。
- * 有機JAS認証の取得は（既に信用を得ているので）考えていない。

□ 有機栽培のきっかけ、最近の展開等～樫村親子からのコメント～

- ・ 常に、「安全・安心」を考えている。環境にも、消費者にも、自分たち農家にも、安全であることが必要（絶対）。この想いで、これまで、ずっと、やってきた。色々な考え方があがるが、この想いは、これからも、変わることはないと思う。
- ・ 積極的に（失敗するか成功するかはともかく）、行動を起こし、農業の魅力アピールすることも必要だと思う。コロナ禍の影響の中でも対策を講じて「日立ドライブスルーマルシェ」を開催した。野菜の美味しさだけでなく、農業に懸ける想いを、周りの人たちにも知ってもらう機会にもなっている。そして、同時に、応援ももらっている。